

第一部 第四話 北潟の小女子

むかし、北潟にはどの家にも舟があつて、ふだんはそれに野菜や魚を乗せて吉崎へ売りに行きました。今、吉崎御坊までは、バスで十分ほどで行けます。しかし、昔は、北潟の小牧から出る渡し舟で行つたのです。

四月には、吉崎参りがあります。その時は、どの家でも舟をきれいに洗つて、めざら置き、ござをしいて吉崎参りに行くお客さんを乗せて、小牧を出発しました。湖の東の丘には、菜の花が咲きみだれ、青い麦がゆれています。

この吉崎参りには、越前（福井）、加賀（石川）、越中（富山）などからと、たくさんの方が集まりました。なぜ、集まつたのでしょうか。

それは、^{れんによしようにん}蓮如上人という、とても偉い^{えら}お坊さんがこの吉崎^{よしざき}という

ところ^{ところ}にお寺を築いたからです。^{れんによしようにん}蓮如上人は仏教を広めるため、

よしざき^{よしざき} ちゅうしん^{ちゅうしん} ぶきよう^{ぶきよう} ひろ^{ひろ} 吉崎を中心に布教（仏教を広める活動）して歩きました。

まいにちまいにちある
毎日毎日歩きました。

そんなある日、^ひまいにち^{まいにち} つか^{つか} 毎日の疲れがたまってきた上人^{しょうにん}は、^{おも}こう思いました。

「^{きよう}今日は、^{てんき}いい天気だ。^{うみべ}海辺で散歩^{さんぽ}してみるか。」

^{しょうにん}上人は、^{きたがた}北潟の海^{うみ}へ向かっています。^{きたがた}北潟の海辺には、さわやかな

^{かぜ}風が吹いており、^{しょうにん}上人は、いつしか眠り込んでしまいました。^めふと目をさま

すと、^{ゆう}夕ぐれがせまっております、いつのまにか人通りが増えていました。しかし、

その人々の服装^{ひとびと ふくそう}はというと、色は黒^{いろ 黒}ずんでおり、もう何年^{なんねん}も着ていると



いった^{もの}物ばかりでした。

ふしぎ^{おも}に思^しった上^{しょうにん}人は、一人^{ひとり}の男^{おとこ}をつかまえて聞^ききました。

「どうして、みんなの服^{ふく}はそんなにボロボロなのですか。」

「この辺^{へん}は、海^{うみ}辺^べだというのに、魚^{さかな}がろくにとれなくて、服^{ふく}も買^かえ

ね^んです。」

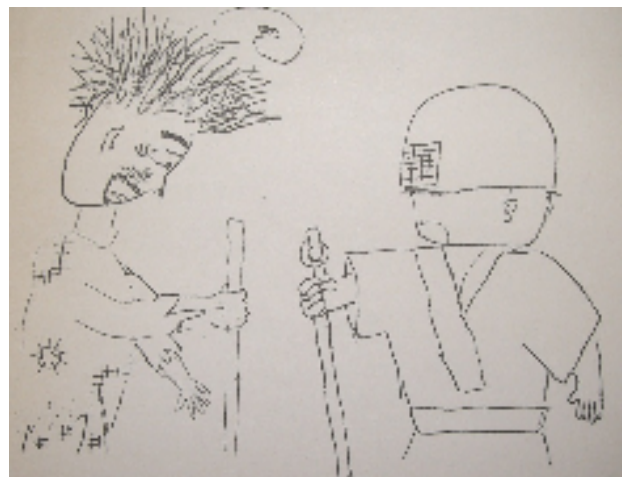
「おやおや、こんなにきれいな浜^{はま}なのに、魚^{さかな}がとれないんですか。」

「はい。それに、平^{へい}地^ちが少^{すく}なくて、い^やくら野^や菜^{さい}を育^{そだ}てようと思^{おも}っても

場^ば所^{しょ}がね^んです。」

これ^きを聞^きいた蓮^{れん}如^{にょ}上^{しょう}人^{にん}は、

「これはこれは、なんとひどい村^{むら}じゃ、ほおっておけん。何^{なん}とかしてやらねば。」



と、おも 思いました。そう かんが 考 えながら、またとぼとぼと ある 歩いていくと、 こんど 今度は、 おんな 女 の ひと 人に会いました。
この ひと 人もさっきの 男 の ひと おとな 人と同じで、 食べる 物 もろくになく、 困 っているということでした。

そこで、 蓮 上 人 は、 決心 をしました。

「見てなさい。」

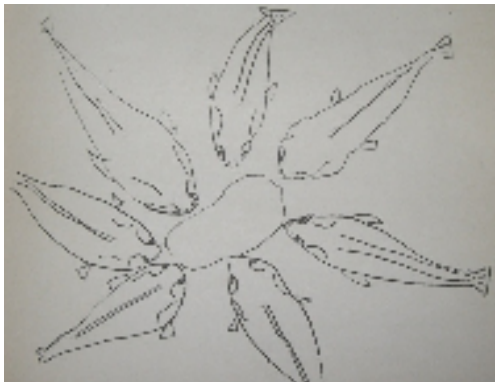
と言 い ながら、 海 の 方 を 向 き、 ふところから 白 い 紙 の よう な 物 を 出 しまし た。 上 人 は、 それ を 小 さ
く 小 さ く ちぎ っ て、 こより (こよりとは、 小 さ く 長 細 く まる め た 物) を いく つ も いく つ も 作 り まし た。

夕 日 が し ず む ころ にな っ て、 ちぎ る の を や め た 上 人 は、

「これで、この 村 も 救 わ れ る だ ろ う。」

と言 い、 海 の 中 に その こより を 投 げ こ み まし た。 す る と ど う で し ょ う。

こより に 似 た 魚 が、 た く さ ん た く さ ん よ っ て く る で は あ り ま せ ん か。



おんな ひと
女の人は、もうびつくりして、

「あらまあ、これはすごい。」

と、手 て をたたいて よろこ 喜びました。そして、村 むら の方 ほう へ走 はし っていくと、みんなに知 し らせました。村人 むらびと たちは、
蓮 れん 如 にょ 上 しょう 人 にん に何 なん 度 ど も何 なん 度 ど もお礼 れい を言 い うと、さっそく、その魚 さかな をとって、売 う りに歩 ある きました。そう
すること、北 きた 潟 がた の村 むら は、だんだん豊 ゆた かになっていきました。

そのこよりに似 に た魚 さかな を リ こなご リ と、言 い います。

みなさんの家 いえ の食 しょく 卓 たく にも、きつとならんだことがあるでしょう。

今 こん 度 ど、ならべられたら、本 ほん 当 とう に魚 さかな かどうか、確 たし かめてください。

もしかして、紙 かみ かも知 し れませんよ。